

創立146周年

学校だより



は南風の子

中種子町立

南界小学校

令和元年11月22日(金)

正しいしつけは子どもへの大切な贈物です

校長 吉留 巧

先日行われた学習発表会は、たくさんの方々にお出でいただきありがとうございました。子どもたちも一生懸命がんばりました。また、町の駅伝大会で南界地区は5位になり躍進賞でした。長期間の練習になりましたが、選手や役員の皆様お疲れ様でした。

さて、「正しいしつけは子どもへの大切な贈物です」この言葉は、教育学者の森 信三先生の教えです。「かごしま家庭教育ナビ」に「しつけ」について次の3つが紹介されています。

1 あいさつ 朝、必ず親にあいさつをする子にすること

子どもが気づかない時には親が先にしましょう。挨拶は人と人とのコミュニケーションにとって必要不可欠なものです。挨拶がきちんとできる子に育てることは、子どもの将来を見据えた大切なしつけです。

2 返事 親に呼ばれたら必ず「ハイ」と返事のできる子にすること

まず、家族間でお互いに呼ばれたら「ハイ」と返事しましょう。「ハイ」という返事は、「相手の言っていることが理解できた」、「しっかり聴き取れた」という合図です。「ハイ」と返事をした以上、「聞こえなかった」という言い訳ができなくなります。この「ハイ」という返事のしつけは、子どもの責任感を育むことになります。

3 履物をそろえる 履物を脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ず椅子を入れる子にすること

脱いだ履物をそろえることは、後始末をきちんとして次への準備をすることです。このことが「お金のしまり、人間のしまり」にも影響するそうです。

私が子どもの頃、母親からいつも言われている3つでした。改めて親の教えはすごいと感じました。

【12月10日は世界人権デー】

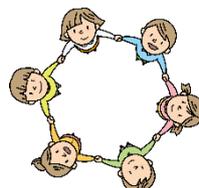
世界人権宣言が1948年(S23年)12月10日の国連総会で採択されたことを記念して国際連合により定められました。

これを受けて、日本では昭和24年以来、「世界人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。

令和元年度でも、12月4日から10日までの1週間を「第71回人権週間」と定め、鹿児島県でもこの期間中に人権問題に関する各種啓発活動を集中的に実施することとしています。新聞、テレビやラジオでの人権週間の放送があるようです。また、県人権同和対策課が制作した資料には、女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権・障がい者の人権・同和問題・HIV感染者等の問題・ハンセン病と人権・犯罪被害者の人権・SNS等の人権侵害・拉致問題など様々な人権課題があると記載されています。

現在、南界小でも「人権教育は全ての教育の基本である」という基本認識のもと、全教育活動の中で基本的人権を尊重する教育を進めています。職員研修は県人権同和教育課の先生を招いて人権同和教育の基礎や自分の思いを伝え合える人間関係づくりなど研修を深めました。

子どもたちにも学習活動や学校生活・各行事等の実施に当たり、人権同和教育の視点に立った取組をしてきました。世界人権デーに合わせ南界小学校では、12月1日から10日までを「校内人権旬間」とし各学年の実態に応じて、人権問題や人権意識に関わる学習を実践していきます。12月6日(金)は、人権標語や作文の発表、異学年交流や人権擁護員の方にお話を聞くなどの人権集会を開催することとしています。家庭や地域でも人権についての理解が深まればと思います。



12月4日(水)に校内持久走大会を開催します。10時15分開会式、10時30分1・2年生、10時45分3・4年生、11時5分5・6年生スタート予定です。今年からコースが校庭と国道緑地帯を周回するコースになります。保護者・地域の皆様の応援をお願いします。

